

2025 年 8 月 18 日

各 位

フィンテック グローバル株式会社

「小口分散太陽光発電サスティナブルノート2号」のアレンジに関するお知らせ
－格付を取得して 19 億円の資金調達を実現－

当社は、株式会社シェアリングエネルギー（本社：東京都港区、代表取締役：上村一行、以下、「シェアリングエネルギー」）との間で、シェアリングエネルギーが所有する 2,485 件の屋根置き太陽光発電設備による将来の売電債権等を裏付とするプロジェクトファイナンス「小口分散太陽光発電サスティナブルノート2号」を組成する業務委託契約を締結しました。また組成したプロジェクトファイナンスについて、株式会社格付投資情報センター（以下、「R&I」）から BBB の格付を取得した上で、19 億円の資金調達が完了しましたのでお知らせいたします。

なお、当社が組成した屋根置きの小口分散太陽光発電設備により発生する債権をもとにしたプロジェクトファイナンスと格付取得は、2024 年 10 月 15 日付「日本初 屋根置きの小口分散太陽光発電設備によるプロジェクトファイナンスをアレンジ 格付を取得して 20 億円の資金調達を実現」にてお知らせした1回目にく2回目となります。

当社グループは、革新的なファイナンスとソリューションの提供により、クライアント企業の事業拡大と、再生可能エネルギーの活用拡大による持続可能な社会の実現に貢献して参ります。

1. 背景と本プロジェクトファイナンスの特徴

シェアリングエネルギーは、ユーザーの戸建住宅などの屋根に初期費用無料で太陽光発電設備を設置し、電気代をお得にする「シェアでんき」を提供しております。2018 年から開始した「シェアでんき」の累計の契約申込数は、2025 年 6 月末現在で 24,000 件超、ハウスメーカーやビルダー等のパートナーは 1,800 社以上となっており、事業は急拡大しています。

今回は 1 回目と同様に、シェアリングエネルギーの発電設備取得や開発のために、長期の事業期間にマッチしたデットの資金ニーズを満たすプロジェクトファイナンスを組成したものです。裏付資産となるプロジェクトは、日射量が高いエリアを中心に全国に分散された屋根置き太陽光発電設備のサービス利用料や FIT による余剰電力の販売による収入を裏付資産としています。このため、日照・天候による発電量の変動幅が小さく、自然災害リスクも分散されています。また、大規模な太陽光発電設備で発生する可能性がある盗難、出力制御、近隣トラブル等のリスクも僅少といった特徴を有しております。

2. 本プロジェクトファイナンスの概要

名称	小口分散太陽光発電サスティナブルノート2号
発行総額	1,937 百万円
発行日	2025 年 8 月 7 日
最終償還日	2039 年 7 月 10 日
格付	BBB (R&I) ※
発行体	合同会社シェアでんき25
スポンサー兼サービサー	株式会社シェアリングエネルギー
アレンジャー 兼バックアップ事務受託者	フィンテック グローバル株式会社
業務受託者	FGI キャピタル・パートナーズ株式会社

※R&I の格付の詳細は下記のウェブサイトをご覧ください。

URL: https://www.r-i.co.jp/news_release_sf/2025/08/news_release_sf_20250807_14907_17333_1_F_jpn.pdf

3. シェアリングエネルギーの概要

会社名	株式会社シェアリングエネルギー
設立年月	2018 年1月
代表者の役職・氏名	代表取締役 上村 一行
所在地	東京都港区新橋 4-11-1 A-PLACE 新橋4階
事業内容	再生可能エネルギー等による発電事業及びその管理・運営に関する業務
URL	https://sharing-energy.co.jp/

4. 業績に与える影響

本件による業績に与える影響は、軽微であります。

以 上

【本プレスリリースに関するお問合せ先】 フィンテック グローバル(株) 事業統括部 ウェブサイト: https://www.fgi.co.jp/ の「お問い合わせ」フォーム 電話: 03-6456-4609	
--	--

「小口分散太陽光発電サスティナブルノート2号」のスキーム（簡略化して記載）

発電事業者は、ユーザーの電力自家消費によるサービス利用債権と、余剰電力の売電債権をSPCに譲渡。
早期の設備設置資金の回収により資金効率が向上。

資金調達時のフロー

返済期間のフロー

設備は全国に分散し、発電量の変動幅が少ない。
屋根置きのため、盗難等のリスク僅少。

